

# 北陵らいぶらりい

5月号

令和元年5月29日 札幌北陵高校図書局発行

新学期が始まってから、時が過ぎるのは早いのもう2か月が経とうとしていますね。1年生はもう学校生活に慣れましたか？『5月病』という言葉があるように、5月は様々なことへの興味や関心を失い、つい無気力になってしまいがちな時期です。図書室には、人付き合いの悩みや、環境の大きな変化に適應できないストレスを解消してくれる、『心』にまつわる本をたくさん置いたコーナーを入口近くに設置しています。ついに平成から令和へと元号も変わり、大きな節目を迎えるこの季節。気を引き締めていきましょう。



同員が選んだ

## 春のオススメ本紹介

『小説の神様』 著者 相沢沙呼 出版 講談社タイガ

学生でありながら作家としてデビューした主人公はネットでの酷評と伸びない売り上げに悩まされていた。作家としての自分に絶望していた彼の前に現れたのは同い年にして人気作家である小余綾詩凜。ひょんなことから二人で小説を書くことになった二人だが、最初の頃はケンカばかり。何度もぶつかり合いながら書き続けるうちに主人公は彼女が隠していた秘密に気づくー

近年問題になるネットでの暴言や酷評などで傷つけられた被害者を描いた青春小説。匿名であるからこそそのモラルの大切さを教えてくれる作品です。

あなたの心無い一言で誰かが傷ついているかもしれません。今一度振り返ってみてはどうでしょうか。 文責：堀



『5分後に恋するラスト』 出版 河出書房新書

幼馴染のケンちゃんとゲームをする。互いに秘密を言い、サイダーに溢れるまで氷を足していく単純なゲーム。水位が上がるにつれて、2人の距離も徐々に近づいていって...。そんな2人を描いた『あふれる』。

ずっと、なんでも半分で満足していた。そんな普通で平均的な中学生だった春田朝子が、芽生えた初めての恋に奮闘する『半分な私の恋』。

それは偶然なのか、それとも必然なのか。父の都合で転校を繰り返していた「私」が初めて出会った友達と奇跡を観に行く『奇跡観測』

などなど、甘くて酸っぱくて時にはほろ苦い、様々な恋を描いた全10本の短編集です。タイトルの通り5分で読める長さなので、本を読むのが苦手な方でも気軽に読める一冊です。 文責：根本



『桜のような僕の恋人』 著者 宇山佳佑 出版 集英社文庫

駆け出しの美容師、美咲に片想いをした晴人はなんとかして美咲に好かれようと自分はプロのカメラマンであると嘘をつく。美容院に通ううちに、晴人は美咲とのデートに漕ぎ着けるが、そこで嘘がバレて美咲の逆鱗に触れてしまう。しかし晴人の真っ直ぐな想いに心を打たれた美咲はその後、晴人と付き合うことになる。幸せな日々が訪れたかと思いきや、逃れられない試練が美咲に襲いかかる...

桜も散って、夏へと向かう季節にぴったりの小説です。是非読んでみてください。 文責：黒川



## 古本市開催のお知らせ

今年も図書局では北陵祭にて古本市を行います。

そのため、古本市に出品するための本を寄付していただける方を募集しています。

古本市の売上は全額ユニセフに寄付いたします。昨年度は270名の方にお越しいただき、売上7800円を平成30年度7月豪雨災害義援金として、日本赤十字社に寄付させていただきました。どうかご協力よろしくお願い致します。

## 先生にインタビュー!

新企画です!

今回は記念すべき第1回目ということで、まずは図書室の担当をしてくださっている安田先生にお話を聞かせてもらいました!

Q1. どのような学校生活を送っていましたか?

A. 部活命! な学校生活で、吹奏楽部に所属しており、3年の11月末まで部活をしていました。

Q2. 学生時代はどのような本を読んでいましたか?

A. 小説を中心に読んでいて、国語の先生の影響で『人間失格』など太宰治の本をよく読んでいました。

Q3. オススメの本を教えてください!

A. 三浦しをんの『風が強く吹いている』です。

たまたま寮に集まった10人が箱根駅伝を目指す話で、タスキを繋ぐことにロマンを感じます。

Q4. 最後に一言メッセージをお願いします!

A. 感情が柔らかい今のうちにたくさんの本を読んで、たくさんの人と話して、たくさんものを見てほしいです。



協力してくださった安田先生、ありがとうございました!

安田先生オススメの『風が強く吹いている』は図書室にも置いてあります!

ぜひ読んでみてくださいね!!

来月号では、もう1人の図書室の担当をしてくださっている先生である、上村先生に話を伺います。楽しみに!

## 特集 令和について

今月の5月1日に元号が「平成」から「令和」へ変わり、ついに新しい時代が始まりました。ということで今月は、新元号「令和」についての特集です。

元号の選定は、まず内閣総理大臣が選んだ高い識見を有する者が次の元号とするのにふさわしい候補を考案し、官房長官がその候補を各界の有識者の意見を聞き、候補を検討・整理し、それを総理大臣に伝えます。次に、総理大臣が衆議院及び参議院の議長・副議長の意見を伺い、全閣僚会議で新元号について協議がなされた後、閣議で改元の政令が決定されました。そして、官房長官によって新元号の公表がなされ、その後総理大臣による新元号の意義などに関する談話が行われました。

そうして決まった「令和」はなんと248番目の元号で、「令」の字が使われるのは初めてで、「和」は20回目です。また、これは万葉集の『初春の令月にして 気淑く風和ぎ 梅は鏡前の粉を披き 蘭は 珮後の香を薫す』という分から引用したもので、『人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ』という意味が込められているようです。万葉集は日本に現存する最古の和歌集で、幅広い身分の人々が詠んだ4500首以上もの歌が収められています。さらに、これまでは中国

古典からの引用だったので、日本国書に由来する元号はこれが初めてとなります。

また、新元号の条件には、『国民の理想としてふさわしいようなよい意味を持つものであること』や『漢字2字であること』、『これまでに元号又はおくり名として用いられたものでないこと』などがあり、公表前には「安永」や「安久」、「永安」など「安」「永」などの字が入ったものが予想されていて、アンケートによっては「タビオカ」「卍」といった予想もありましたが、多くの人の予想は外れ、「令和」が選ばれました。有識者が選定した候補には「令和」以外にも「英弘」「久化」「広至」「方和」「万保」といった案があったことも判明していますが、これに対しては政府が非公開にしようとしたのになぜそのような極秘事項が漏洩してしまったのかとの見方も出ています。

最近ではアメリカと中国の貿易戦争や北朝鮮の核実験、中東の紛争問題、年金制度の破綻、南海トラフなど不穏なニュースが続いていますが、新しい時代である「令和」は平和な時代であってほしいものです。みなさんは「令和」はどんな時代になると思いますか?

ちなみに、「令和」の引用元となった万葉集は図書室にもあります。入ってすぐ左の棚に置いてあるので、ぜひ読んでみてください。

文責：根本

## お詫びと訂正

先月号で紹介した「北陵高校図書館蔵書検索方法」が間違っておりました。パスワードは「humikura」ではなく正しくは「fumikura」でした。申し訳ございませんでした。